

HONDA
The Power of Dreams

CIVIC

スピードはひかえめに、シートベルトを正しくして安全運転。お子様にはチャイルドシートを。



Photo: HATCHBACK
ボディカラー：ネクリスタルブラックパール



Go,
Vantage
Point.

新しい問いかけ。新しい発見。新しい生き方。それを探するために、今よりも見晴らしの良い場所へ
自分の想いで自由に動く。そして、答えを出し、道をつくり、自分を、世界を変えていく。
そんな、前を向いて進む人たちの動く力になりたい。新しい人たちの移動を心豊かなものにした。
それはこのクルマもまた、そうした人々と同じ精神をもって走り続けてきたクルマだからです。
私たちHondaは、「人間の自由な移動」を夢に持ち、理想を追求してきました。
人が思うままに、快適に、安心して、行きたいところへ行けること。
それによって、誰かと絆を深めたり、未知の出来事に胸を躍らせることのできるしあわせ。
自由な移動をもたらす人間らしい喜びを目指し、様々な乗り物を創ってきました。
そのために人間を研究し、技術がもっとできることはないか、今までの常識を疑い、試し、
かつてなかった答えにたどり着く。こうしたチャレンジを繰り返してきました。
目の前にあるこのクルマは、初代が誕生した時から、私たちの想いを濃密にのせてきました。
デザイン、走行性能、居住性、安全性能。より深い移動の喜びに挑んだ最新の成果を
人と社会に送り出し、広げました。Hondaの生き様を象徴し続けてきたクルマ。
だからこそ、私たちのクルマの中で最も長く大事にしてきた名前。NEW シビック誕生です。

Photo: [左]TYPE-R ボディカラーはチャンピオンシップホワイト [中央]SEDAN ボディカラーはプレミアムクリスタルレッド・メタリック メーカーオプション装着車 [右]HATCHBACK ボディカラーはクリスタルブラック・パール





欧州は「ハッチバックの本場」といわれます。都市部では道幅が狭く、路上での縦列駐車も日常の風景。さらには、家族を乗せて荷物を積み、長距離を経て休暇旅行を楽しむ生活様式もある。取り回しがしやすく、室内が広いクルマが求められるのは必然でした。しかも欧州は、石畳やアウトバーン、山岳では厳しいワインディング、荒れた路面も存在し、国境をまたげば道路事情が一変する地域もあるなど、特有の環境はクルマに高い走行性能を要求し、性能に対する人々の厳しい評価の目も育てました。そうした土壌を持つ欧州に、Hondaは日本で最後発の自動車メーカーながら早くから進出に挑み、英国に生産拠点を建設。1995年に欧州専用仕様のシビックを送り出し、続く次期型は、特に英国で高い支持を受け、人々への浸透を一気に深めました。以後も欧州のシビックは、その地で得た知見を反映し、独自に進化。この最新型は、世界基準を目指したパフォーマンスを持つグローバルモデルとして、英国から全世界に送り出されます。

CIVIC HATCHBACK

ロー&ワイドを基調とした、躍動感と先進感あふれる革新的なスポーティーシェイプ。
専用チューニングで高出力化した、環境性能にも優れる1.5L直噴VTEC TURBOエンジン。
そのエンジンと新開発のプラットフォームが織りなすエキサイティングなパフォーマンス。
ハッチバックのシビック。欧州で磨かれ飛躍的に進化した、再び日本の道を走ります。

Engine:	1.5L VTEC TURBO
Transmission:	6MT/CVT
Max. Power:	134kW [182PS]/5,500rpm (6MT) 134kW [182PS]/6,000rpm (CVT)
Max. Torque:	240N·m [24.5kgf·m]/1,900-5,000rpm (6MT) 220N·m [22.4kgf·m]/1,700-5,500rpm (CVT)

Photo: HATCHBACK
ボディカラーはクリスタルブラックパール

CIVIC HATCHBACK 07 08

「OTOKOMAE」。10代目となる新しいシビックの開発の夜明け。
技術者たちが構想を日々語り合い、そして開発の旗印となるひと言を
求めて行き着いたのが、この言葉でした。それ以前の数世代、
シビックは世界それぞれの地域に合った設計をつくり分けていました。
しかしクルマの領域でも進むグローバル化。それはHondaが心得とする
「良品に国境なし」という考えを強める状況の変化でした。それを受け
次のシビックは、すべてに世界基準を満たす共通の設計、しかも
セダン/ハッチバック/TYPE Rの同時開発というシビック史上初の
道に挑みました。まさに百出した屍骸への想い。それを結晶させた言葉が、
一見意外な「OTOKOMAE」でした。「MAE=前」は歌舞伎でいう「動き」。
すなわち、深く「走る姿の美しさ」を目指す想い。さらに「他と比べて
差をつけるのではなく、「喜びの絶対値」に向けて筋を貫き、妥協しない」
という強い心意気を込めた言葉でした。追求は骨格から始まりました。
クルマづくりはパッケージ（基本構造）が決まってからカーデザインに
移るのが通例です。しかしこのクルマでは、骨格設計から
デザイナーが関与。エンジニアリングと一体となり、剛性や空力・
衝突安全性能など、走りの喜びに関わる要素を徹底的に磨きながら、
心揺さぶる造形を持つロー&ワイドの骨格を創り上げていきました。

Photo: HATCHBACK
ボディカラーはクリスタルブラック・パール

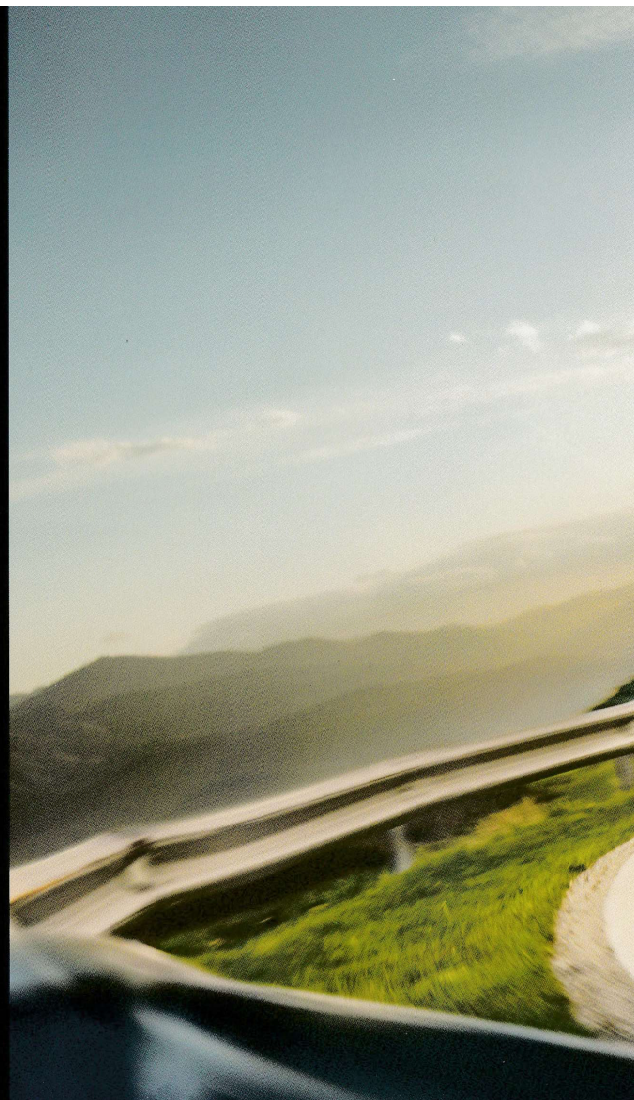




Photo: HATCHBACK
ボディカラーはクリスタルブラック・パール

人間の自由な移動の喜び。それをクルマの性能で言えば、速さだけでなく、安心の中で動きを意のままにできる性能になるとHondaは考えます。その究極の形がレーシングマシンです。Hondaはレースの頂点で技術を磨き、量産車にも活かしてきました。コントロール性の要となるのは、プラットフォームと呼ぶ車台の部分。このシビックは、地域別につくり分けていた設計を改め、過酷な走行状況や道路環境に照準を合わせた世界基準のプラットフォームを目指し、ゼロから開発しました。200km/h以上のアウトバーン走行まで念頭に置いた直進安定性や、あらゆる速度域で愉しめるハンドリングの追求。さらに、特筆すべきは、TYPE Rとの共用まで見据えた設計でした。そのTYPE Rは2017年4月、西ドイツのニュルブルクリンクでFFモデル世界最速^{*1}のラップタイム^{*2}を記録し、高度な運動性能を実証。その性能を支えたプラットフォームと素性を同じくするプラットフォームが、このHATCHBACKとSEDANに使われています。あわせて、エンジンを小型・軽量化して車両前部の重量を抑え、また、旋回性を高める電子制御技術「アジャイルハンドリングアシスト」も採用。そのボディサイズや重厚な車格感を裏切る、操縦の軽快さを実現しました。

*1: Honda調べ ※2: 7分43秒80、開発車両によるテスト走行、Honda測定値

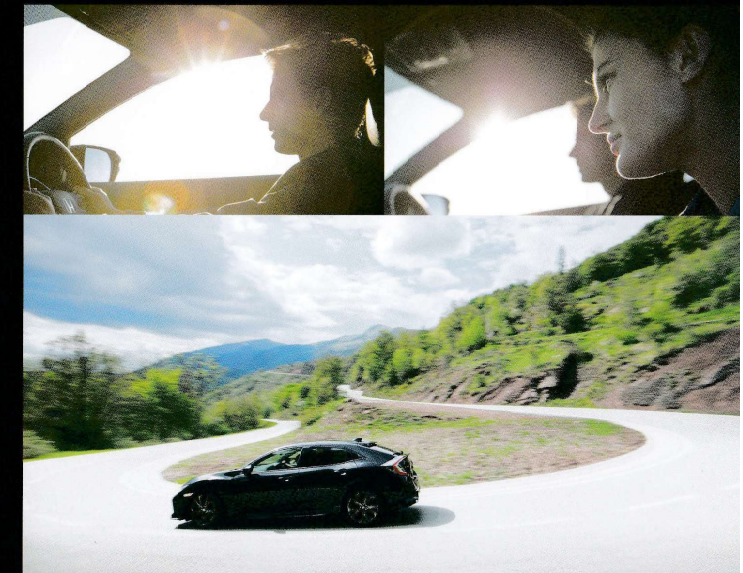




Photo: HATCHBACK 6MT)
ディーラーオプション装着車。メーター類は撮影のため点灯



コーナーを高い安定感とともに俊敏に駆け抜ける楽しさ。そこには世界基準のプラットフォームや低くワイドなボディー、そしてもうひとつ、低い乗車位置が寄与しています。シートを低くすることでクルマの重心は下がり、旋回時の身体の揺れも抑えられ、心理面でも人をスポーティーな気持ちにします。シートを低くするには、前方視界との両立が課題でした。1mmを削る執念でエンジンまわりの小型化に徹してボンネットを低くし、ワイパーも小型化。一方、広い視界は極めて高速での走行時、運転者に緊張を生むため、インストルメントパネルが上下に動く車両を仕立て、高速での実走を重ねる中で、その高さを感じて調整。包まれ感により安心を高める設計まで施しました。またHATCHBACKにはCVTのほか、身体を動かし、クルマと呼吸を合わせ、走りを楽しむクルマの根源的な楽しさが味わえる6速MTも設定。メーターは精緻なアナログのタコメーターを描画し、多彩な情報も映せる大型液晶。パーキングブレーキは電子制御式とするなど新しい操作感も追求。様々な操る喜びを深めました。

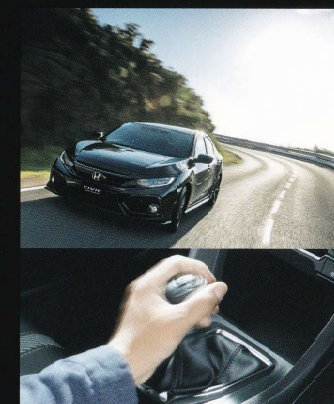
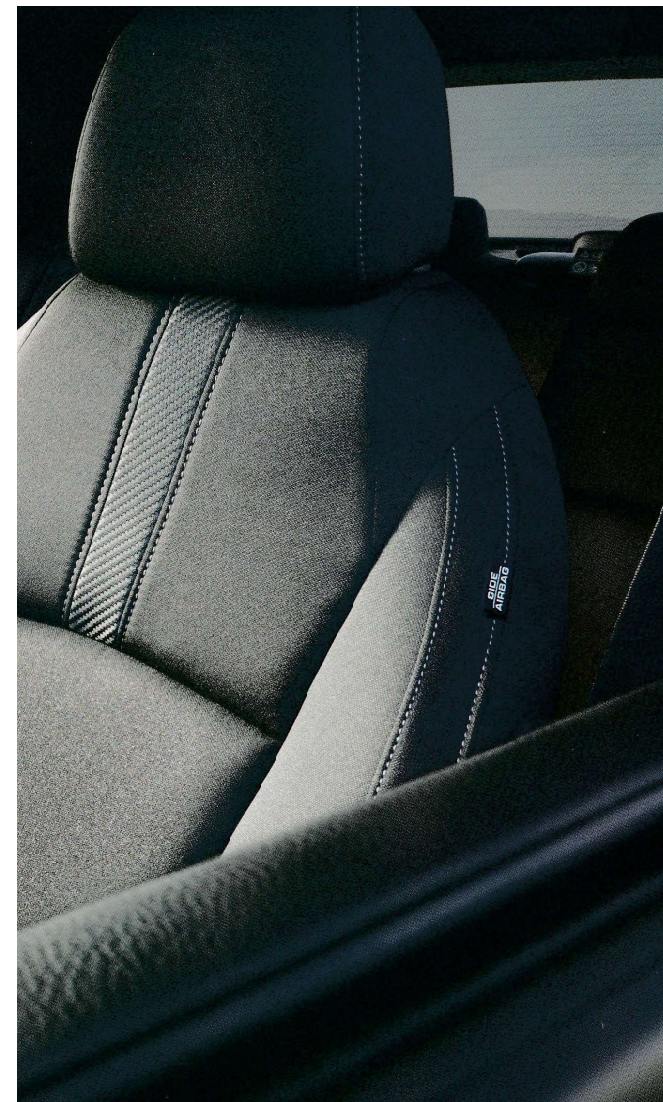




Photo: HATCHBACK (GMT)
ディーラーオプション装着車



1967年の軽自動車N360にすでに原点があり、Hondaがすべてのクルマに貫いてきた思想があります。それは「メカのスペースは最小に、人のための空間は最大に」という「M・M[®]思想」です。

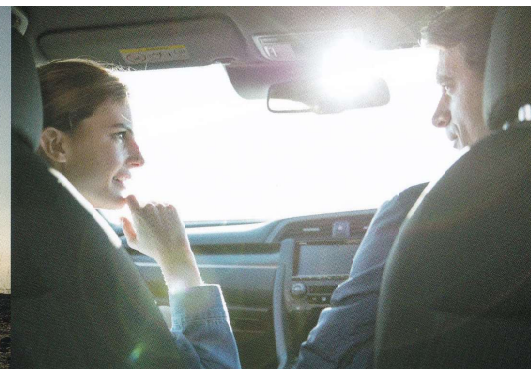
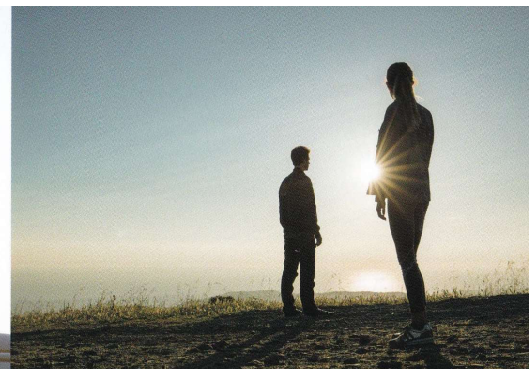
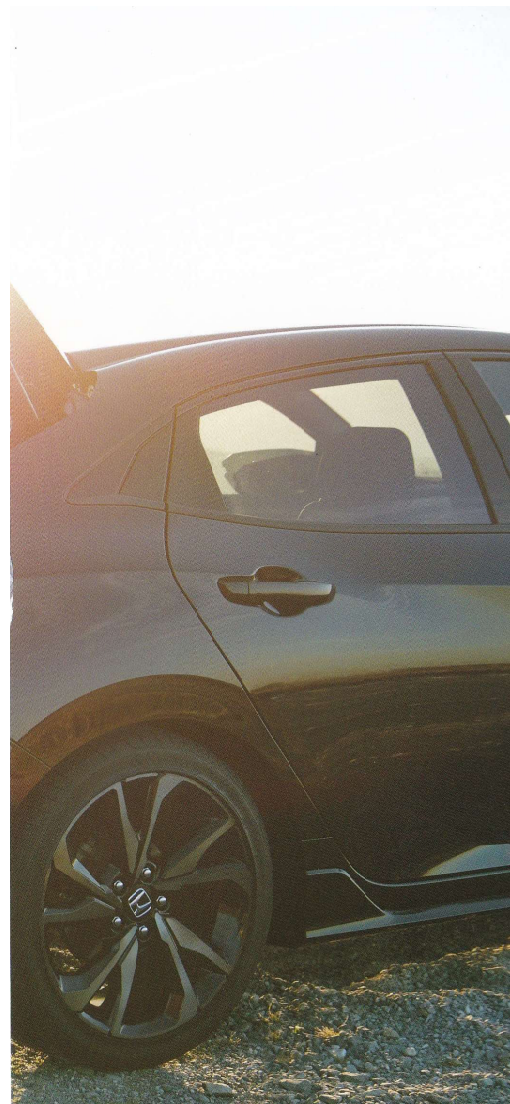
メカの最小化。10代目のシビックで、その中心技術となったのはエンジンそのものです。ターボを活かしてパワーは大きく、エンジンは小さくする「ダウンサイジングターボ」の手法。このシビックと同等のパワーを自然吸気エンジンで得ようとするれば、非気量はあと1L近く必要。エンジン前後長は90mm長くなり、このボディサイズでこれだけの伸びやかな室内長を実現するのは不可能でした。ロー&ワイドなシルエットながら、広びろとした室内。荷室の容量も、外観からは想像できない広さです。

後席は、長い室内長を活かして膝前を十分にとり、前席の下に足先が入る設計も施し、ゆとりある乗車感を実現。さらに、後席からの見通しに配慮し、肩の部分を削いだシートも開放感の向上に寄与しています。

*マン・マキシマム/メカ・ミニマム



Photo: HATCHBACK
ボディカラーはクリスタルブラックパール。ディーラーオプション装着車。



地球の裏にある美しい風景も、
起きている出来事さえも、
今や手の中におさまる
ディスプレイでうかがえる時代。



けれど、動いてみる。バーチャルではない
ダイレクトな体験をするために。
止まっているは決して得られない
感覚と出会うために。





P21-22の写真はすべて海外仕様車です。

世界で愛されるシビック。

人間は自由な存在。だから、人が行きたい時に、行きたい場所へ、行きたいように行けること。Hondaはそのことを大事に考え、それを叶えようと力を尽くしてきました。

クルマやバイクだけでなく、ジェット機、さらには歩行訓練機器まで、自由に移動できるしあわせを乗せるものに、数々挑んできました。

人間の身体や気持ちを探り、喜びにつながる技術を注ぎ込む。シビックもそうして生まれました。人間の本質に訴えるものは国や人種の違いも超えていきます。2016年、Honda四輪車は累計1億台を達成^{*}。その実に約1/4をシビックが占めています。

この10代目は、ほぼ統一された仕様で世界8の拠点を生産、約170の国と地域で販売。日本に先立って発売された各国では既に人々の暮らしの中で様々に心豊かさを広げています。

*Honda四輪車世界生産累計台数。2015年9月達成。





日本と欧州では、ハッチバックがシビックの歩みの軸でしたが、自動車大国である北米や南米、アジアで主軸となり、シビックの世界への広がり大きく支えてきたのは4ドアセダンでした。Hondaが日本の自動車メーカーで初めて米国進出に挑み、生産の地としたオハイオ工場でも、シビックの生産は1986年の開始以来、4ドアセダンが中心です。鉄道網も少ない広大な国土、長い移動距離、高い巡航速度。こうした環境では、エンジンルーム、車室、荷室が独立し、走行安定性や静粛性を高めるのに有利なセダンは、最適なボディタイプでした。さらに、Hondaはそこに洗練のデザインと先進技術による新しい操る喜び、低燃費という価値を加え、支持を広げてきました。2006年には北米カー・オブ・ザ・イヤー受賞。そして、日本に先立ち2016年に米国で発売されたこのシビックセダンが、2度目の受賞。総合的な完成度の高さを実証しました。



2016年
北米カー・オブ・ザ・イヤー受賞

CIVIC SEDAN

流麗なルーフライン、硬質で彫刻的なサイドパネルを持つ先進的で上質なフォルム。
力みなぎる加速と高回転までの伸び、低燃費を両立した1.5L 直噴VTEC TURBOエンジン。
そして広い室内空間。グローバルスタンダードを標榜する各国の自動車メーカーがしのぎを削るCセグメントでNo.1を目指して開発し、北米で栄えある賞を獲得したSEDANです。

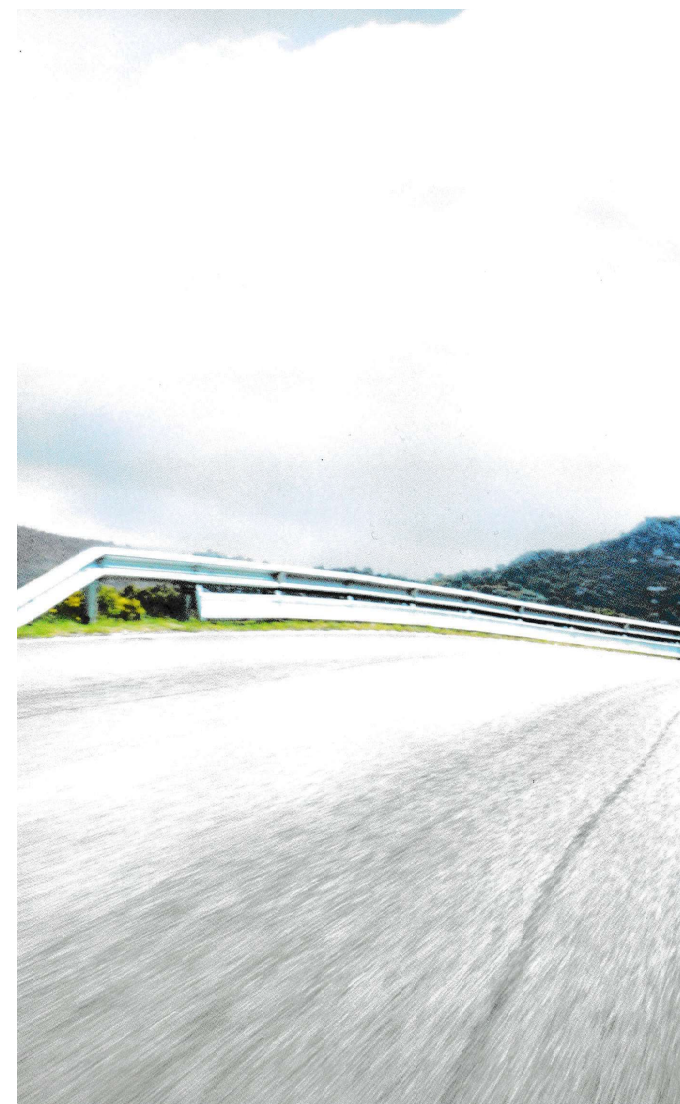
Engine: 1.5L VTEC TURBO
Transmission: CVT
Max.Power: 127kW [173PS]/5,500rpm
Max.Torque: 220N・m [22.4kgf・m]/1,700-5,500rpm

Photo: SEDAN
ボディカラーはプレミアムクリスタルレッド・メタリック メーカーオプション装着車





Photo: SEDAN
ボディカラーはプレミアムクリスタルレッド・メタリック メーカーオプション装着車

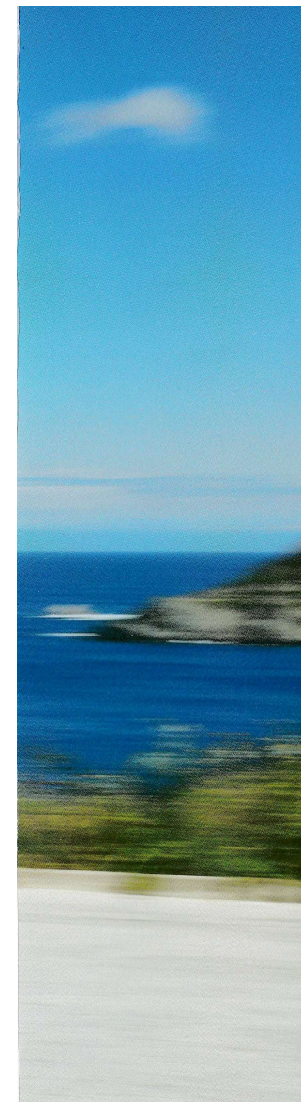


シビックが世界にその名を広げたのは1974年。当時、世界中の自動車メーカーからも達成は不可能と言われた米国の厳しい大気浄化法「マスキー法」を、完成車として世界で初めてクリアしたことによります。走りの喜びとともに、美しい地球環境を次の世代に手渡したい。そう思い、「子供たちに青空を」を合言葉に据えたのが1960年代。1974年の快挙はその想いに基づく技術の成果であり、以後もシビックは、パワーと環境性能を高次元で両立させる先進の技術を次々と世界に広げてきました。そしてこの10代目に採用したのが「VTEC TURBOエンジン」です。ターボでパワーを補う分、排気量を小さくし、回転数も抑え、燃費と排出ガスを抑える技術。これに、直噴システムやHonda自信のバルブ制御技術などを加え、エネルギー効率を徹底的に高めました。1.5Lながら127kW、HATCHBACKは134kW。トルクにおいては低回転から幅広い回転域で2.4Lの自然吸気エンジンを凌駕し[※]、アクセルを踏んだ瞬間に心をつつほどの圧倒的な加速感を実現。HATCHBACKはターボ過給圧と排気流量などを高めるチューニングを施し、出力をさらに向上。よりスポーティーな加速が愉しめます。

※Hondaの2.4L自然吸気エンジンとの比較



Photo: SEDAN
ボディカラーはプレミアムクリスタルレッド・メタリック メーカーオプション装着車



Hondaの「M・M思想」でいう「人のための空間の拡大」は、広さだけでなく、「人の気持ちを最大化する」ところに真意があります。N-BOXやフィットのように、コンパクトなボディーの中に開放感や実用性を求める想いには、そのための最善を尽くした設計を。シビックで大事にしたのは「走りの高揚感」でした。SEDANのデザインで心血を注いだのはリアピラー、すなわちルーフの後半の骨格です。エンジンルームを極力短くする一方で、このリアピラーを長く延ばす。それにより、クルマの下半身では重心が前に、上半身では後ろにある印象とし、動きを強く感じるシルエットを実現。そして、リアピラーの傾斜。寝かせれば、走りや燃費を左右する空力性能に非常に有利に働く反面、後席の居住性は犠牲になる。この問題に挑み、数々のリアピラーを試作しては実走し、後席のゆとりを体感で測りながら理想の形を追求。こうした経緯を経て完成した、クーペのような流麗なリアピラー。それは「OTOKOMAE」で目指した、走り姿が美しい独特のセダンフォルムの具現化です。

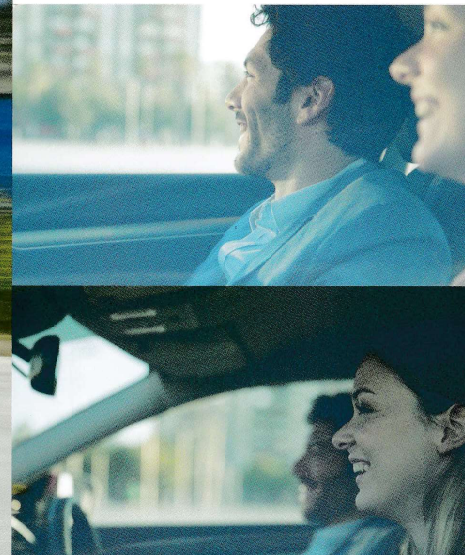
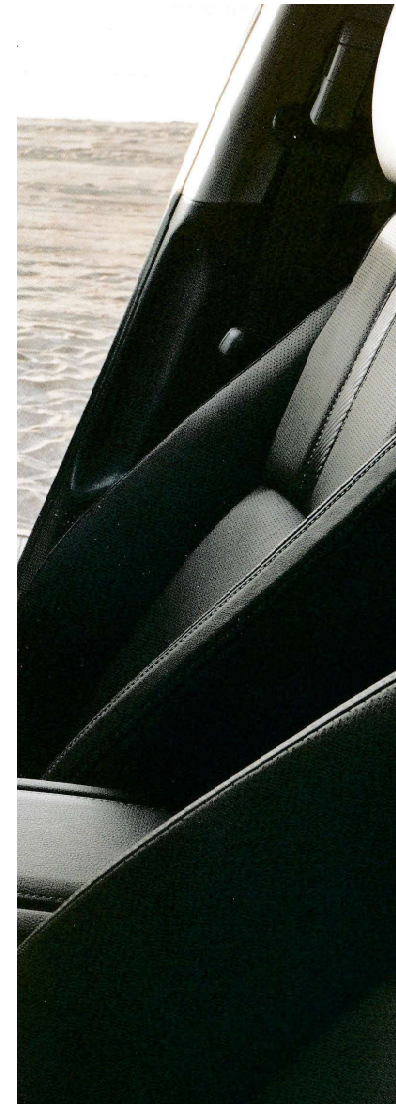
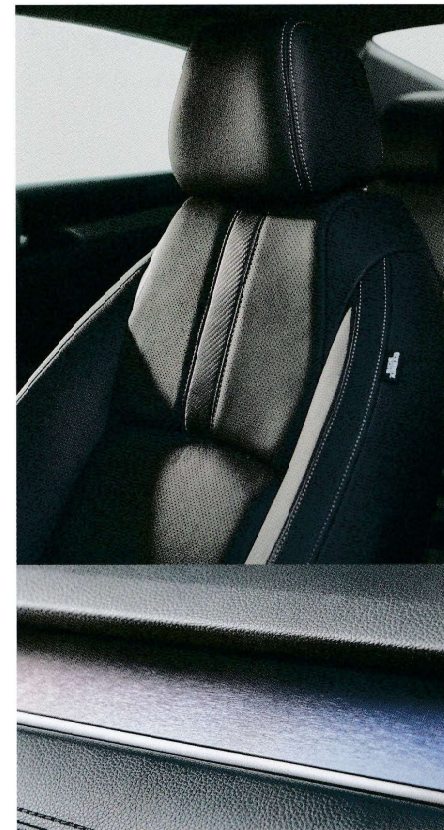




Photo: SEDAN
メーカーオプション、ディーラーオプション装着車



クルマをデザインするのではなく、生活をデザインする。
その考えのもとシビックは、能動的に人生を生きる
新しい人々の感性と調和し、そうした方々の移動の時間を
「操る喜びが際立つ上質なもの」にする存在として、
その意志を隔々に行き渡らせました。
剛性を高めて細くしたフロントピラーが生む、運転のしやすさと
開放感を広げる見晴らしの良さ。ワイドボディーを活かした、
くつろぎにしっかりと機能する幅広のアームレスト。
そこから前方へ伸びるハイデッキのコンソールが左右に
分かつことで生まれる、運転席／助手席それぞれの
高いパーソナル感。虚飾を廃し、運転に集中しやすい
環境を生む操作系。さらに、腰を自然に奥へ導き、
上体のサポート性も良い、機能的で洗練されたシート。
後席は、グローバルカーとして大柄な体格を基準に
ゆとりを確保し、かつチャイルドシートを2つ装着しても
余裕のある空間を実現。SEDANはHATCHBACKよりも
後席をより後方に据え、一層の広さを獲得しました。
また、音はスポーティーな味付けのHATCHBACKに対し、
SEDANは優れた骨格剛性と、消音機能を持つアルミ
ホイールの採用などで極めて高い静粛性を実現しました。



動くことは、心を動かすこと。
知らないもの、初めてのものに
五感が研ぎ澄まされ、思考が動く。
自分の中に芽生える新しい変化。



きょうよりも光が差す未来のために。
見晴らしのいい場所へ行くために。
もっともっと、自分を連れ出そう。

Photo: SEDAN
ボディカラーはプレミアムクリスタルレッド・メタリック メーカーオプション装着車





Photo: SEDAN
ボディカラーはプレミアムクリスタルレッド・メタリック メーカーオプション装着車 メーター類は撮影のため点灯



CIVIC TYPE R

アクセルを踏む。ステアリングを切る。ブレーキを踏む。クルマがドライバーから受け取る入力は極めてシンプルです。しかしその中に、多彩なドライブシーンがあり、操る人の意思がある。ドライバーの意思に、もっとリニアに応えたい。その想いを突き詰めた時、限りなく広い走りの世界が見えてきました。究極の量産車、Hondaレーシングスピリットの証明として極限の性能を磨き、そしてこのTYPE Rは、TYPE Rの常識を超える「新化」に挑みました。

Engine: 2.0L VTEC TURBO
Transmission: 5MT
Max.Power: 235kW [320PS]/6,500rpm
Max.Torque: 400N·m [40.8kgf·m]/2,500-4,500rpm



Photo: TYPE R
ボディカラーはチャンピオンシップホワイト



Photo: TYPE R
ホディカラーはチャンピオンシップホワイト 写真はプロドライバーによるサーキット走行を撮影したものです。一般公道では安全運転を心がけてください。



安心の中で、速度や挙動を限りなく人間の自由にできる運動性能。本能を震わせ、解放する喜び。それを公道を走る量産車としてピュアに追求してきたTYPE R。その最先端が、この一台です。ニュルブルクリンクFF世界最速^{*}。先代を約7秒も上回る進化。しかし、このTYPE Rの真価はより奥深い成長です。操る時間の中で様々に移ろうシーン、ドライバーの意思。例えば心穏やかに街中で

スポーティーな走りが愉しみたい。そうした時にも喜びに満ちた走りの味が得られるTYPE Rを目指し、「コンフォートモード」を含む3つのドライブモードを新開発しました。スイッチひとつでアクセルレスポンス、ステアフィール、ボディーモーションなどが一斉に切り替わる。これにより、公道でのスポーツ性と快適性が格段に向上。懐深い新次元のTYPE Rを創造しました。 ※2017年4月現在。開発車両によるテスト走行。Honda調べ

[TYPE Rの詳細は専用カタログをご覧ください。](#)



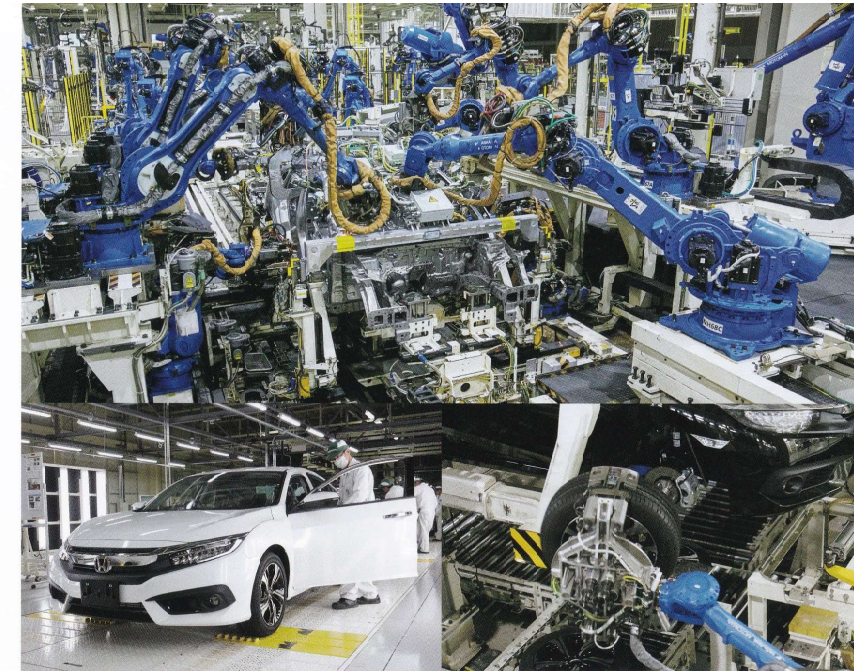
英国南部のウィルトシャー州、スウィンドン市にあるHonda英国工場。1985年に設立。最新のシビックでは、HATCHBACKの全世界向け生産・輸出拠点。

SWINDON
MANCHESTER
LONDON



P41の写真はすべて海外仕様車です。

日本で産声を上げたシビックは、海を渡り、そして誕生の5年後から海外での現地生産がスタート。販売だけでなく生産においても早くからワールドワイドな国際車として成長してきました。その中で独特な歩みをみせたのが欧州です。1985年にHonda of The U.K. Manufacturing Ltd.が生まれ、シビックは1994年から欧州専用仕様として生産。この地で鍛えられながら代を重ねてきました。そして、欧州車が大陸を超えて受容される時代の中、最新型は世界基準を目指したハッチバックとして全世界へ送り出されます。またセダンは、日本国内向けを新たに埼玉製作所 寄居工場で生産。この寄居工場は、進歩的な生産システムや生産テクノロジーを世界の工場の見本となって示す「マザー工場」の役割を担って2013年につくられました。溶接をより小型な設備で、一段と高速かつ効率的に行える「スマートGW」と呼ぶ技術や、高品質にサスペンションを自動搭載する技術、インストルメントパネルを省スペースで取り付ける自動化技術、タイヤを無人で組み付ける技術など。Hondaが誇る先進の設備で生産を進めています。




YORII

SAITAMA
OSYO

2013年、先進の生産手法を追求し、世界に供給する狙いで生まれた、高効率・高品質な生産技術と高い環境技術を誇る最新鋭工場、日本向けのSEDANを生産。

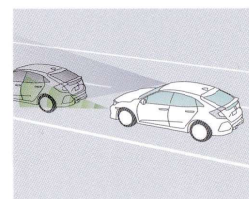


Honda
SENSING

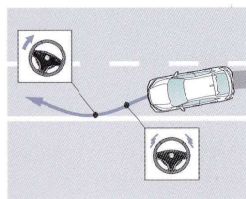


前をゆくクルマを検知し、緊急時には自動でブレーキを働かせる。
その技術を世界で初めて実用化したのはHondaでした。
開発で注力したのは、「人が介入する余地を最大限残す」こと。
警報の機能を充実させ、制御のあり方も、運転する人の意思を尊重する形で設計。
先進安全技術の分野でも、最初からHondaの発想は「人が中心」でした。
2002年に実用化している、車線維持を支援するLKASも、高速道路での
疲労を感じにくい快適な移動を目指して開発。車線の中央に沿うように
支援しながらも、人には操作の違和感を感じさせない点にも創意を尽くし、
今日まで技術を磨いてきています。カメラとレーダーの情報を融合し、
高精度な検知を可能にした「Honda SENSING」。ここにも、人が心から安心して
自由に移動できる喜びを考える思想が息づいています。

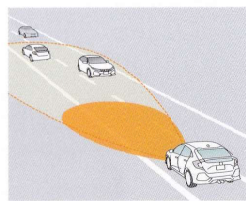
レーダー×カメラによる先進の運転支援システム。



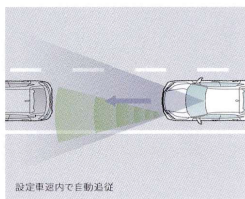
衝突軽減ブレーキ(CMBS)
 車両や歩行者を検知し、衝突の危険がある場合に表示・ブザーで警告。緊急時には、自動で強いブレーキをかけ、衝突回避・被害軽減を図ります。
 CMBS=Collision Mitigation Brake System(衝突軽減ブレーキ)



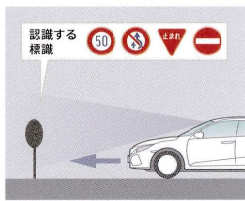
LKAS(車線維持支援システム)
 中・高速走行時、単眼カメラで車線を受え、車線の中央に沿って走れるようステアリング操作をアシスト。車線を外れそうな際には、表示とステアリング振動で注意を喚起します。
 LKAS=Lane Keep Assist System(車線維持支援システム)



路外逸脱抑制機能
 車線を外れそうな際、表示とステアリング振動で警告し、さらにクルマを車線内へ戻すようにステアリングを制御。逸脱量が大きいと予測される際はブレーキも併用し、逸脱しないように支援します。



渋滞追従機能付®ACC(アダプティブクルーズコントロール)
 アクセルペダルを踏まずに設定した車速を保つクルーズコントロールに、前走車を検知する機能を追加。車速と車間を適切に制御することを支援します。前走車の停止に合わせて停車する機能付®。◎CVT車のみ。



標識認識機能
 最高速度/はみ出し通行禁止/一時停止/車両進入禁止、4種類の標識を認識してマルチインフォメーションディスプレイに表示し、安全運転を支援します。

対象の位置や速度の測定に強いミリ波レーダーと、対象の形や大きさの識別に強い単眼カメラ。2つを融合した高精度な検知機能と様々な制御技術で、安心・快適な運転を支援します。

■各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況によっては、作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある前走車両や歩行者、または対向車両(二輪車や自転車等を除く)に対して衝突する可能性があるとしてシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。対向車両(二輪車や自転車等を除く)と歩行者に対しては、自車が約80km/h以下で走行中の場合に作動します。■路外逸脱抑制機能は約60km/h～約100km/hで走行中に、路外への逸脱またはシステムが路外への逸脱を予測したとき、作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。■渋滞追従機能付ACCは0km/h～、ACCは約30km/h～で作動します。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときにご利用ください。前方車両に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。■LKAS(車線維持支援システム)は、約65km/h～で作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている場合は作動しません。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り換え制御には状況により限界がございます。つねに周囲の状況を確認し、必要に応じて手動で切り換え操作を行ってください。■標識認識機能は最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の標識を認識し、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で作動します。自車の単眼カメラから見て、車両等の検知になった道路標識は認識することができません。■図はすべて作動イメージ。

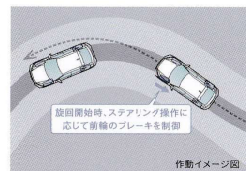
安心や心地よさを高め、操る喜びを深める充実の標準装備。



LEDヘッドライト
 遠くまで明るく均一に照らし、高速道路などでの安心感を向上。点灯の瞬間から最大の光量を放つLEDの特性により、トンネルへの進入直後などでも安心感のある視界を提供。



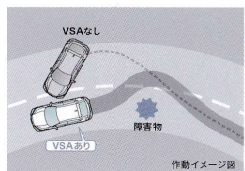
電子制御パーキングブレーキ
 指先でスイッチを押し上げれば作動。発進時はアクセルを踏めば自動的に解除します。■空動・解除時に後輪付近からモーター音が聞こえますが異常ではありません。また、アクセルペダルによる自動解除は、運転席のシートベルトが着用されている時のみ作動します。



アジャイルハンドリングアシスト
 コーナリング時、ブレーキを緻密に制御し、ステアリングを切り始め際の回頭性をや旋回中のライトレール性を向上させる旋回支援システムです。



オートブレーキホールド機能
 坂道、渋滞等での停車時に、ブレーキペダルから足を離しても停車状態を保ちアクセルを踏めば自動的に解除します。■シートベルトを着用し、エンジンを始動してからスイッチを押すと、機能がONになります。



VSA
 ブレーキ時の車輪ロックを防ぐEBD付ABS、加速時などでの車輪空転を抑えるTCS、旋回時の横すべり抑制。これらを総合的に制御し、車両の姿勢の安定化を図ります。VSA=Vehicle Stability Assist(車両姿勢安定化制御システム)、EBD=電子制御制動力配分システム、ABS=4輪アンチロックブレーキシステム、TCS=トラクションコントロールシステム



ポップアップフードシステム
 歩行者との衝突を感知すると、ボンネットフードの後部を持ち上げ、歩行者の頭部への衝撃を低減します。



エマージェンシーストップシグナル
 急ブレーキ時、追突事故を防ぐため、ハザードランプを自動で高速点滅させ、後続車に注意を促します。



運転席用&助手席用 i-SRSエアバッグシステム
 運転席用は、「早く」「長く」「優しく」膨らみ、様々な体格の方の乗員保護性能の向上と、エアバッグによる衝撃力の低減を両立するHonda独自の「連続容量変化タイプ」です。



ヒルスタートアシスト機能
 坂道発進時、ブレーキからアクセルペダルを踏み替える瞬間のクルマの後退を約1秒間抑制します。



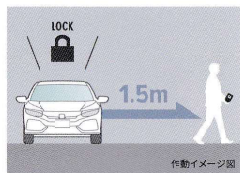
前席用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム
 側面衝突時、センサーが衝撃を感知すると展開し、高い乗員保護性能を発揮します。

■各技術の能力には限界があります。つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。ご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。■アジャイルハンドリングアシストはあくまでもドライバーのステアリング操作を補助するシステムです。ABSは滑りやすい状況での制動時に車輪ロックを防止、EBDはブレーキ時の車輪の制動力配分をコンピュータがコントロールし、制動ポテンシャルをフルに引き出します。EBD付ABSは、あくまでもドライバーのブレーキ操作を補助するシステムです。VSAはあくまでもドライバーのブレーキ操作やアクセル操作等を補助するシステムです。したがって、アジャイルハンドリングアシストやEBD付ABS、VSAがない車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、ムリな運転では制御できません。安全運転をお願いします。■エマージェンシーストップシグナルは追突されるおそれ低減するためのシステムです。運転席時は必要ないブレーキを避け、安全運転をお願いします。■ポップアップフードシステムは、衝突条件により、作動しない場合があります。■運転席用&助手席用i-SRSエアバッグシステムは、横方向や後方からの衝撃には作動しません。前方からの、設定値以上の衝撃を感知した時のみ作動します。■エアバッグシステムは、あくまでもシートベルトを着用することを前提として開発されたシステムです。くれぐれもシートベルトの正しい着用をお願いします。■前席用i-サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムは、実際の衝突時には衝突側のみ展開します。i-サイドエアバッグシステムおよびサイドカーテンエアバッグシステムは、システムを正しく機能させるための注意事項があります。■エアバッグシステムの写真は、機能説明のため、エアバッグが展開した状態を合成したものです。



エンジンスタートボタン付^{※1} Hondaスマートキーシステム

離れた場所からエンジンの始動が可能。エアコンも連動し、夏冬など、あらかじめ快適な室温にしてから乗り込め、寒冷時はデフロスターなども自動的に作動します。2個付属するキーのうち1個がエンジンスタートボタン付となります。SEDANはトランク解除ボタン付です。



降車時オートドアロック機能^{※2}

降車の際、旋錠の操作を行わなくても、キーを持ったままクルマから約1.5m以上離れ、少し待つだけで自動的に旋錠。荷物を抱えている時などに便利な機能です。この機能はすべてのドアが閉まった時に、キーが車両周辺1.5m以内にある時に起動します。



マルチインフォメーション・ディスプレイ

ターボブースト表示機能のほか、外気温、平均燃費、瞬間燃費、推定航続可能距離など、ステアリングのスイッチ操作により多彩な情報を切り替えて表示できます。写真はHATCHBACK (6MT)。



アームレスト付 コンソールボックス

快適性を高める、長さ・幅ともゆとりのあるサイズの前席アームレストに内蔵した収納ボックス。たっぷりとした容量で小物の収納に役立ちます。



IRカット(遮熱)/UVカット機能付 フロントウインドウガラス+ IRカット(遮熱)/スーパーUVカット フロントドアガラス

日焼けの原因、紫外線を約99%カット^{※3}。顔・顔にジリジリとした暑さを生む赤外線も低減。冷房効果も向上させます。



バドルシフト [CVT車]

運転中、ステアリングの裏にある＋とーのレバー(バドル)を指先で操作すればCVTでありながらマニュアル感覚のシフトチェンジが楽しめます。



ラゲッジルーム&カーゴエアアカパー

流麗なルーフラインを持ちながら、ゴルフバッグが3個^{※4}積める42L^{※5}の大容量。カーゴエアアカパーは右側・左側どちらにも巻き取り可能。床面には4個のタイダウンフックも装備。



トランクルーム

ゴルフバッグが4個^{※4}積める、奥行・幅ともにゆとりあふれる519L^{※5}の大容量。また、トランクスルー機構も採用。後席を前に倒せば、長尺物も収納できます。



ナビ装着用スペシャルパッケージ

ディーラーオプションのナビの装着を手軽にするワイヤーハーネスや、リアワイドカメラ、ステアリングのリモートコントロールスイッチなど、ナビをより便利に使えるアイテムをパッケージ。



ETC車載器

有料道路料金所をキャッシュレス決済によりノンストップで通行可能に。ディーラーオプションのナビに連動し、ナビ画面と音声で料金を案内します。

※1: エンジンスタートボタン付はCVT車のみ。 ※2: 機能をONにするには、マルチインフォメーション・ディスプレイのカスタマイズ機能による設定が必要。 ※3: Honda調べ、ISO9050基準。 ※4: ゴルフバッグ、クラブの形状、サイズ等によっては積めない場合があります。詳しくは販売会社にてご確認ください。 ※5: VDA方式によるHonda測定値。 ■小物類は撮影のために用意したものです。 ■安全のため走行の際は荷物をしっかりと固定してください。 ■Hondaスマートキーシステムは、盗難・解錠のときに電波を発行します。その際、積込み型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。 ■エンジンスタートボタン付Hondaスマートキーシステムを使用するには、Honda販売会社の専用機器によるセッティング作業が必要です。また、一酸化炭素を吸い込む危険のあるガレージや密閉された場所でのエンジンの始動もおやめください。 ■詳しくは販売会社にお問い合わせください。

MAKER OPTION HATCHBACK (CVT) SEDAN

本革の質感などで上級のプライベート空間を演出。

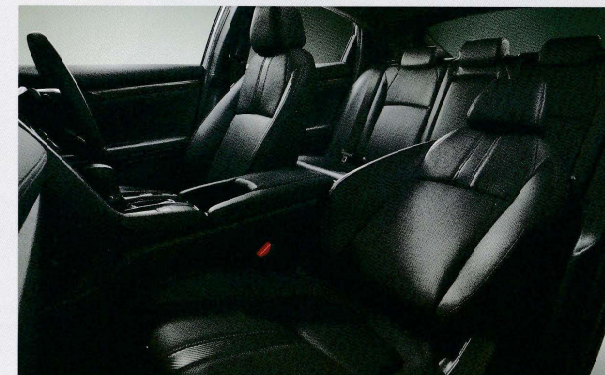


Photo: HATCHBACK (CVT)

レザーインテリア

室内にもたらず一層の上質感と、身体をつむしなやかな触感が、ドライビングをより心豊かなものにします。フロントシートの側面・背面の中部と下部・ヘッドレストと、リアシートのサイドサポート部・ヘッドレスト・中央席、アームレストなどにプライムスムースを使用しています。

HATCHBACK (CVT) はレザーインテリアと運転席8ウェイパワーシート/助手席4ウェイパワーシートとのセット装着。SEDANはさらに17インチ ノイズリデュースアルミホイールとのセット装着となります。



運転席8ウェイパワーシート/ 助手席4ウェイパワーシート

前後スライドやリクライニング、運転席にはさらに高さ(前・後)が無段階に調節可能。体格に合ったドライビングポジションが容易に得られます。



17インチ ノイズリデュースアルミホイール

スタイルの重厚感と走行性能の向上に寄与。また、リムの周囲に中空構造の消音機能を持ち、道路の縦ぎ目を越える際などに起こる不快な中周波ロードノイズを低減。静粛性を高めます。

DEALER OPTION



Honda純正ナビ「Gathers」スタンダード インターナビ VX-M-185Vfi [2017年8月下旬発売予定]

インターナビ装着車から通信で得られるリアルタイムの交通情報、さらにそれを長年蓄積してきた膨大な情報も駆使し、高精度な渋滞情報、災害情報など役立つ多彩な情報をご提供します。写真の画面はハメコミ合成。3タイプのナビをご用意。詳しくはアクセサリカタログをご覧ください。 ■製造事業者:株式会社ホンダアクセス

■各装備・仕様の詳しい設定につきましては、P.52の「主要装備」をご覧ください。



事故の予防を支援する
Honda
SENSING
(渋滞追従機能付(CVT車))

Photo: HATCHBACK(6MT)
ボディカラーはブリリアントスポーツブルー・メタリック



事故の予防を支援する
Honda
SENSING
(渋滞追従機能付)

Photo: SEDAN
ボディカラーはルナシルバー・メタリック

HATCHBACK

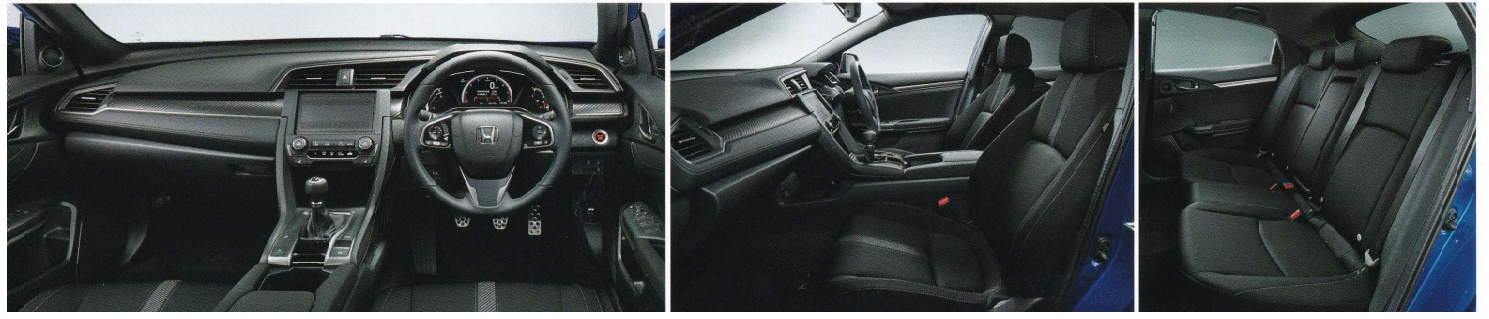
6MT CVT

全国メーカー希望小売価格
2,800,440円 (消費税抜き2,593,000円) リサイクル料金10,200円は別途

エコカー減税対象
20% 25%

革新のスポーティーシェイプに、エキサイティングなパフォーマンス。

左・中央の写真のオーディオホールリッドはディーラーオプション



SEDAN

CVT

全国メーカー希望小売価格
2,650,320円 (消費税抜き2,454,300円) リサイクル料金10,200円は別途

エコカー減税対象
20% 25%

流麗・先進のデザイン。上質な乗り味とダイナミックな操る喜び。

※非行者事故対応ステアリング、誤発進抑制機能、先行車発進お知らせ機能は装備されません。
■価格はメーカー希望小売価格(消費税8%込み)で参考価格です。販売価格は販売会社が独自に定めております。■保険料、税金(消費税を除く)、登録などに伴う諸費用は別途必要です。■自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要です。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。■リサイクル料金は、リサイクル預託金(シユレクターダスト、エアバッグ類、フロン類)の回収等に必要費用、債権管理料金及び資金管理料金の合計金額です。■価格には、応急バンク修理キット・標準工具・ジャッキが含まれます。■応急バンク修理キットを準備しておりますので、スペアタイヤは装備していません。■オプション価格及び取付費は価格に含まれていません。■ETC车载器を使用するには、前送決済用のETCカード、セットアップ作業(セットアップ費用)が必要となります。■メーカー写真は撮影のため点灯。■各装備・仕様の詳細につきましては、P52~53の「主要装備」をご覧ください。

左・中央の写真のオーディオホールリッドはディーラーオプション



TYPE 49 50

上質な走りを予感させる、深みがあり質感高いカラー。

BODY COLOR *1のボディカラーは37,800円(消費税8%抜き 35,000円)高、*2のボディカラーは59,400円(消費税8%抜き 55,000円)高となります。



透明感のあるクリアな輝きをもった上品なパールホワイト。

ホワイトオーキッド・パール*1

HATCHBACK SEDAN



夜空の月の如く、陰影の中に輝きを放つダークなシルバー。

ルナシルバー・メタリック

HATCHBACK SEDAN



漆黒にパールがきらめく、ニュアンス豊かなブラック。

クリスタルブラック・パール

HATCHBACK SEDAN



存在感を主張する、鮮やかなレッド。

フレイムレッド

HATCHBACK



落ち着きと鮮やかさを備えた深みのあるブルー。

ブリリアントスポーツブルー・メタリック

HATCHBACK



クリアな輝きの中に深みのある、特別なレッド。

プレミアムクリスタルレッド・メタリック*2

SEDAN

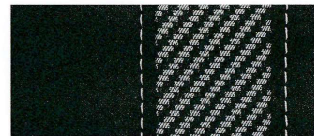


星のように強い輝きを秘めた、ダークなブルーイッシュガンメタ。

コスミックブルー・メタリック

SEDAN

SEAT COLOR / MATERIAL



ブラック/ソフトホワイト



ブラック/本革

メーカーオプション



カーボンテクスマッシュメタルパネル

HATCHBACK



ブラッシュドフィニッシュメタルパネル

SEDAN

*フロントシートの側面・背面の中部と下部・ヘッドレストと、リアシートのサイドサポート部・ヘッドレスト・中央席・アームレストなどにプライムスムースを使用しています。

●室内のルーフ色は、HATCHBACKはブラック、SEDANはライトグレーとなります。

EQUIPMENT

主要装備

安全装備/ 運転支援機能

- Honda SENSING*1(衝突軽減ブレーキ(CMS)、渋滞追従機能付*2ACC(アダプティブクルーズコントロール)、LKAS(車線維持支援システム)、路外逸脱抑制機能、オートハイビーム、標識認識機能) ●アジャイルハンドリングアシスト
- VSA ●EBD(電子制御制動力配分システム)付ABS ●デュアルピニオンアシストEPS ●_EDヘッドライト(ハイ/ロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付) ●LEDフォグライト
- 導光タイプLEDポジションランプ*3 ●エマージェンシーストップシグナル ●ヒルスタートアシスト機能 ●運転席用&助手席用-SRSエアバッグシステム
- 前席用1・サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム(前席/後席対応) ●ポップアップフードシステム ●フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナー-ELRシートベルト
- リア3点式ロードリミッター付プリテンショナー-ELRシートベルト(左右席) ●リア3点式ELRシートベルト(中央席) ●運転席/助手席シートベルト締め忘れ警告ブザー&警告灯(シートベルトリマインダー付)
- 後席シートベルト締め忘れ警告表示(シートベルトリマインダー付) ●汎用型ISOFIXチャイルドシートロアアンカレッジ(リア左右席)+トップテザーアンカレッジ(リア左右席) ●電子制御/パーキングブレーキ
- オートブレーキホールド機能 ●エコアシスト(ECONモード、コーニング機能) ●アイドリングストップシステム ●イモビライザー(国土交通省認可品) ●セキュリティアラーム(国土交通省認可品) ●ダブルホーン

快適装備/メーター

- エンジンスタートボタン付*2Hondaスマートキーシステム(駐車時オートドアロック機能/キー2個付*4) ●プッシュエンジンスタート/ストップスイッチ ●テレスコピック&チルトステアリング
- ナビ装着用スペシャルパッケージ(リアワイドカメラ、オーディオリモートコントロールスイッチ、ハンズフリーテレホンスイッチ、音声認識スイッチ、USBジャック、専用ワイヤレスハーネス など)+ETC車載器
- オーディオレス ●8スピーカー(4スピーカー+4ツイーター) ●フルオート・エアコンディショナー ●リアベンチレーション ●アルフリー高性能脱臭フィルター ●リアヒーターダクト
- 運転席&助手席シートヒーター ●運転席ハイトアジャスター ●運転席&助手席ドアワンタッチ式パワーウィンドウ(運転席&助手席両方込み防止機構/キーオフオーバーレション機構付)
- 車速連動オートドアロック*5 ●パワードアロック ●マルチインフォメーションディスプレイ(ターボポスト/外気温/平均燃費/瞬間燃費/推定駆動可能距離表示機能など) ●ヘッドライトオートオフ機能
- ワンタッチウインカー ●アクセサリーソケット(DC12V、フロント)(HATCHBACKはラゲッジルームにも装備)

インテリア

- 本革巻ステアリングホイール(スムースレザー) ●本革巻シフトノブ[6MT車] ●本革巻セレクトレバー[CVT車] ●ステンレス製スポーツペダル ●自動防眩ルームミラー ●ハイデキセンターコンソール
- ピアノブラック調コンソールガーニッシュ ●アームレスト付コンソールボックス ●ソフトパッド(インストルメントパネル/フロントドア) ●6:4分割可倒式リアシート ●リアセンターアームレスト(ドリンクホルダー付)
- 運転席用&助手席用バニティミラー付サンバイザー(照射付) ●メタリック塗装インナードアハンドル ●グラブレール(運転席/助手席/リア左右席) ●グローブボックス(照射付)
- センターポケット(照射付) ●フロントコンソールトレイ ●助手席シートバックポケット ●ドアポケット(ボトルホルダー付) ●コーヒーフック(リア左右席) ●フロントマップランプ
- LEDアンビエントランプ(HATCHBACKはレッド、SEDANはブルー) ●ルームランプ ●ラゲッジルームランプ(SEDANはトランクランプ)

エクステリア/ガラス

- 電動格納式リモコンカラードアミラー(ヒーター機能/LEDウインカー付、オートリトラミラー) ●遮音機能付ガラス(フロントウインドウ) ●IRカット(遮熱)/UVカット機能付フロントウインドウガラス
- IRカット(遮熱)/スーパーUVカットフロントドアガラス ●車速連動/パリアブル間欠フロントワイパー(雨滴検知式、ミスト機構付) ●シャークフィンアンテナ

足まわり/走行 関連メカニズム

- VGR(可変ステアリングギアレシオ) ●バドルシフト[CVT車] ●独立マルチリンク式リアサスペンション ●4輪ディスクブレーキ(フロント:ベンチレーテッド) ●応急バンク修理キット(スペアタイヤレス)

HATCHBACK専用装備

- ピアノブラック・フロントグリル ●フロントスポイラー ●センターデュアルエキゾースト ●18インチアルミホイール(アルミ切削+ブラックリア塗装)+235/40R 8 95Yスチールラジアルタイヤ
- UVカット機能付プライバシーガラス(リアドア/テールゲート) ●ウォッシュャー付間欠リアワイパー(リハース連動) ●ダイレクトフューエルシステム ●カーコエリアカバー ●タイダウンフック(4カ所)
- コンビニフック(ラゲッジルーム)

SEDAN専用装備

- クロームメッキ・フロントグリル ●クロームメッキ・アウタードアハンドル ●16インチノイズリデュースングアルミホイール(アルミ切削+クリア塗装)+215/55R16 93Vスチールラジアルタイヤ
- UVカット機能付ソフトプライバシーガラス(リアドア/リアクォーター/リア) ●トランクスルー機構

メーカーオプション

- HATCHBACK(CVT)、SEDANに設定 (ご注文時にお申し付けください)
- レザーインテリア*5+運転席8ウェイパワーシート+助手席4ウェイパワーシート(SEDANはさらに17インチノイズリデュースングアルミホイール+215/50R17 91Vスチールラジアルタイヤ)

*1:CVT車にはHonda SENSINGを装備しない仕様もご用意しております。その場合、「渋滞追従機能付ACC(アダプティブクルーズコントロール)」に替わり「クルーズコントロール」が装備されます。 *2:CVT車のみのお選定となります。 *3:パワーモードがONモード時、ライトスイッチが「AUTO」で周囲が明るいと「アクセスリレーランプ」として点灯します。 *4:CVT車はキー2個のうち1個がエンジンスタートボタン付となります。 *5:HATCHBACKはテールゲート連動。 *6:フロントシートの側面・背面の中部と下部・ヘッドレストと、リアシートのサイドサポート部・ヘッドレスト・中央席・アームレストなどにプライムスムースを使用しています。 *メーカーオプションは、メーカーの工場で作成するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。 *仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。 *このカタログの写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。 *タイプ、カラー、オプション等により納期が異なります。 *詳しくは販売会社にお問い合わせください。

主要諸元

	タイプ		HATCHBACK		SEDAN		
	駆動方式		FF		FF		
車名・型式	ホンダオプゾーカー・D3A-FK●		ホンダオプゾーカー・D3A-FK●		ホンダDBA-FC1●		
トランスミッション	6速マニュアル		無段変速オートマチック(トルクコンバーター付) [アビドモード付] +パドルシフト		無段変速オートマチック(トルクコンバーター付) [アビドモード付] +パドルシフト		
寸法・質量・質量定員	全長(m)	4.520	4.520	4.520	4.630	4.630	
	全幅(m)	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	
	全高(m)	1.435	1.435	1.435	1.415	1.415	
	ホイールベース(m)	2.700	2.700	2.700	2.700	2.700	
	トレッド(m) 前/後	1.535/1.555	1.535/1.555	1.535/1.555	1.545/1.545	1.545/1.545	
	最低地上高(m)	0.135	0.135	0.135	0.135	0.135	
	車両重量(kg)	1,320	1,350(1,360)	1,350(1,360)	1,300(1,320)	1,300(1,320)	
乗車定員(名)	5		5		5		
	客室寸法(m) 長さ/幅/高さ	1.910/1.465/1.160		1.910/1.465/1.160		1.910/1.465/1.160	
エンジン	エンジン形式/シリンダ数/クランク径/クランク長さ	L15C/水冷直列4気筒横置		L15C/水冷直列4気筒横置		L15B/水冷直列4気筒横置	
	排気機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2		DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2		DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2	
燃費	燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)		電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)		無鉛レギュラーガソリン	
	燃料タンク容量(L)	47		47		47	
	燃費(リットル/100km)	13.4[18.2]/7.500		13.4[18.2]/6,000		12.7[17.3]/5,500	
	最大トルク(N・m [kgf-m]/rpm)	240[24.3]/1,900-5,000		240[24.3]/1,900-5,000		220[22.4]/1,700-5,500	
	CO ₂ 排出量(g/km)	17.4		18.0		19.4(8.0)	
主要燃費向上対策	直噴エンジン、可変バルブタイミング、アイドリングストップ装置、電動パワーステアリング、自動無段変速機(CVT) [CVT車]		直噴エンジン、可変バルブタイミング、アイドリングストップ装置、電動パワーステアリング、自動無段変速機(CVT) [CVT車]		直噴エンジン、可変バルブタイミング、アイドリングストップ装置、電動パワーステアリング、自動無段変速機(CVT) [CVT車]		
動力伝達・走行装置	変速比	前進 1速3.642/2速2.089/3速1.367 / 4速1.023/5速0.823(6速0.685)		2.645~0.405(マニュアルモード付)		5.3	
	減速比	後進 3.673 / 4.105		1.858~1.264 / 4.810		5.3	
性能	燃料供給装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)	
	ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)	
	タイヤ(前・後)	235/40R18 95*		235/40R18 95*		215/55R16 93V(G15,50R17 91V)	
	主ブレーキの種類・形式(前/後)	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク		油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク		油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク	
	サスペンション方式(前/後)	マクファーソン式/マルチリンク式		マクファーソン式/マルチリンク式		マクファーソン式/マルチリンク式	
スタビライザー形式(前・後)	トーションバー式		トーションバー式		トーションバー式		

()内はメーカーオプションのレザーインテリア+革靴座8ウェイパワーシート+助手座4ウェイパワーシート(Sedanはさらに17インチアルミホイール)装着車。■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象・渋滞状況)や運転方法(急発進・急減速・急ブレーキ)等により実際の消費量は異なります。●この基準は、自動車重量税、自動車重量税の軽減措置が受けられます。*燃費率は2018年7月31日まで、車検料は2018年4月20日までの最新価格が対象。詳しくは販売会社へお問い合わせください。■主要諸元は最新仕様を基準とする形式決定申請書に基づきます。■CIVIC、アリアフォー、エアアシスト、Honda SENSING、LKAS、RPM-FI、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の高橋です。■HATCHBACK 製造事業者: Honda of The U.K. Manufacturing Ltd. (製造国:イギリス) ■SEDAN 製造事業者: 本田技研工業株式会社 ■HATCHBACK 輸入販売元: 本田技研工業株式会社

環境仕様

基礎情報	車両型式	DBA-K7		DBA-FC1		環境適合規格レベル	平成28年騒音規制値(制動・加速走行72dB(A))
		型式/燃料消費率(L)	L15C/1.496	L15B/1.496	L15C/1.496		
駆動装置	駆動方式	FF		FF		エアコン稼働時CO ₂ 排出量 ^{※1}	HFC-134/1-30 ^{※2}
	駆動方式	CVT		CVT			使用量
燃費	燃費(リットル/100km)	6MT	17.4	18.3	19.4	室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内環境汚染指標以下)
	CO ₂ 排出量(g/km) (燃費から5の換算値)	133.4	129.0	119.7	124.8	臭気	自工会2005年目標達成(1995年使用量**0.7/1.0)
環境性能	排出ガス	適合規制/認定レベル		平成17年排出ガス基準75%低減		大気	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止 ^{※3})
	適合規制/認定レベル	適合規制/認定レベル		平成17年排出ガス基準75%低減		六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)
燃費	CO	1.15		1.15		コドミウム	自工会目標達成(2010年1月以降使用禁止)
	モード認定基準値(単位:g/km)	CO	6.013	6.013	6.013	鉛	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)
燃費	NMHC	0.013		0.013		リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示
	NOx	0.013		0.013		リサイクルしにくい材料**を	アンダーコート、バンパーフェースなどの内外装部品
燃費	適合規制/認定レベル	適合規制/認定レベル		平成17年排出ガス基準75%低減		使用した部品	リサイクル可能な
	適合規制/認定レベル	適合規制/認定レベル		平成17年排出ガス基準75%低減		リサイクル可能な	リサイクル可能な
燃費	適合規制/認定レベル	適合規制/認定レベル		平成17年排出ガス基準75%低減		リサイクル可能な	リサイクル可能な
	適合規制/認定レベル	適合規制/認定レベル		平成17年排出ガス基準75%低減		リサイクル可能な	リサイクル可能な



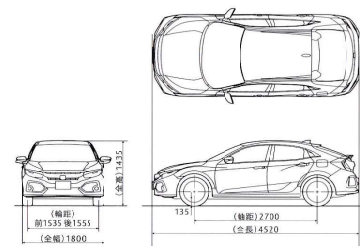
「平成27年度燃費基準+10%達成車」



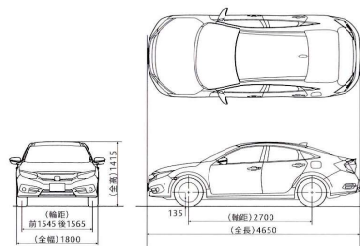
「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象・渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。*2 GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *3 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の車種車種における国内向け排出台数の加重平均値)にすることを求められております。*4 1996年乗用車の業界平均使用量は195g(バッテリーを除く)。*5 交通安全上必須な部品の燃費使用量を除外。*6 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*7 「新車時のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年自工会)」に基づき算出。*8 この燃費仕様書は2017年7月現在のものです。

寸法イメージ図 単位:mm HATCHBACK



寸法イメージ図 単位:mm メーカーオプション装着車 SEDAN



TYPE R史上最強のパフォーマンスと、かつてないグランドツアラー性能。

TYPE R 6MT

全国メーカー希望小売価格 (消費税抜き4,167,000円) **4,500,360円** (消費税別) リサイクル料金10,200円は別途

■価格はメーカー希望小売価格(消費税8%込み)で参考価格です。販売価格は販売会社が独自に定めております。■保険料、税金(消費税を除く)、登録などに伴う諸費用は別途必要です。■自動車リサイクル法のお問い合わせください。■リサイクル料金は、リサイクル料(リサイクル料金)、リサイクル料(リサイクル料金)、リサイクル料(リサイクル料金)及びリサイクル料(リサイクル料金)の合計金額です。■価格には、応急パッチ修理キット、標準工具、ジャッキが含まれます。■応急パッチ修理キットを装着しておりますので、スペアタイヤは付属していません。■オプション価格及び取り付け費は価格に含まれておりません。■CVT車燃費を低減するには、別途決済用のETCカード、セットアップ作業(セットアップ費用)が必要となります。

TYPE Rの性能・装備などの詳細は専用カタログをご覧ください

「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現
次世代のために、今できること。これからすべきこと。Hondaは常に考え、積極的に行動していきます。

Safety for Everyone
すべての人の安全をめぐって、
どこへ自由に移動することができる。
そんな喜びのある社会をつくりたい。
その思いで、Hondaは「を」を追求していきます。

Together for Tomorrow
夢のある明日の社会づくりをめざして
地域に根ざした企業として、
社会や人々とともに心豊かで活力ある
明日をめざす社会活動で、
グループ全体ですめています。

快適なカーライフを過ごしていただくために

新車登録日から3年間、安心のメーカー保証。
保証期間は、新車登録日から3年間^{※1}。また、Hondaが特に指定した部品は5年間^{※2}となります。保証内容は保証書、または販売会社にてご確認ください。
※1 期間内でも走行60,000kmまで ※2 期間内でも走行100,000kmまで

Honda Total Care
「緊急サポートセンター」と「会員サイト」でまとめてサポートする会員サービス「Honda Total Care」。
事故や故障などのトラブルから点検、車検予約、クルマに関する豊富な取りこぎまで、すべてHondaにおまかせください。

Honda C-card 入会受付中
Honda販売会社での新車購入/車検や、日々のカーのご利用でポイントが貯まるHonda Cカード。貯まったポイントは現金や楽天Edyでキャッシュバック。詳しくはCカードホームページへ。 <http://www.honda.co.jp/C-CARD/>

Honda Cars よりお届けします。 本田技研工業株式会社 〒107-8556 東京都港区南青山2丁目1番1号 **2017.07** このカタログの発行は2017年7月現在のものです。 シビック トヨタ店 6411CV/F8000 1705①

お問い合わせ先、ご相談は近隣の販売会社、または下層のフリーダイヤルまで。
●車両について Honda お客様相談センター 全国共通フリーダイヤル ☎0120-112010 (受付時間: 9時~12時 13時~17時)
●純正用品(ディーラーオプション)について ホンダアクセス お客様相談室 全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521 (受付時間: 9時~12時 13時~17時 但し、土日・祝日・ホンダアクセス指定休日を除く)

